



その他イベントの写真などは市公式SNSで配信中!



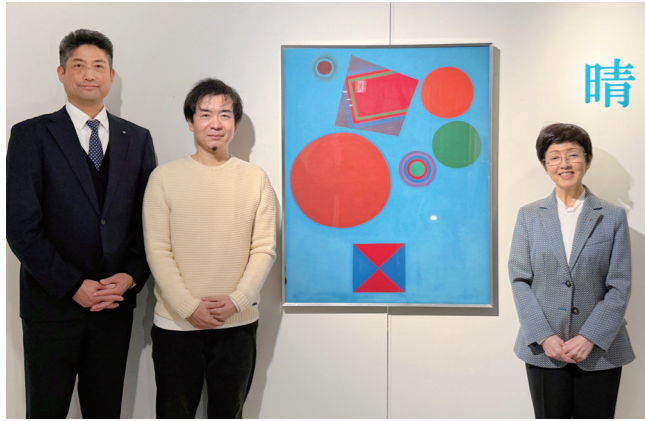
日田 - Hita -

2/14  
~3/22

校長室の名画を公開!

3/15

過去最多1,559人が出場!



2月14日~3月22日にアオーゼで開催された、市所蔵美術品公開展「みんなの宇治山哲平展~晴と歓~」。日田高等学校から借用した宇治山画伯の寄贈作品2点が特別公開され、訪れた人たちはその独創的な世界観に熱心に見入っていた。大人から子どもまで楽しめるアートコーナーもあり、制作された作品が会場を豊かに彩った。

絶好の天気にも恵まれた「第27回天領日田ひなまつり健康マラソン大会」。北海道や海外といった遠方からの申込みも数多く、当日は過去最多となる1,559人が出場した。今大会は、初の試みとなる「コスプレ大賞」も企画!130組を超えるランナーが思い思いの衣装で駆け抜け、沿道から声援を送る観客らを大いに楽しませていた。

前津江 - Maetsue -

3/1

みんなで描く「5年後の前津江」



前津江公民館で開催された、前津江振興協議会主催の「5年後の前津江を考える座談会」。町内外から約100人が参加した。前津江小学校児童の保護者である多和田さん夫妻を講師に迎え、前津江の未来について活発な意見が交わされた。前津江産の野菜をふんだんに使った昼食も振る舞われ、みんなで世代を超えた交流を楽しんだ。

天瀬 - Amagase -

2/10

給食で日田産アユを味わう



天瀬地区の小・中学校の給食に、「アユの大根おろしかけ」が登場した。川魚への関心を高めてもらうため、市内で養殖されたアユが毎年、一部の学校へ給食として提供されている。アユの特徴や栽培漁業などを学び、放流も体験した東溪小学校の児童は、自分たちが放流したアユを思い出しながら、おいしい給食に舌鼓を打った。

中津江 - Nakatsue -

2/18

被災地で学ぶ早期避難

2/20

押し花の工作で咲く笑顔の花



ひた水環境ネットワークセンターによる「防災かわら版」の動画撮影に、津江小学校6年生が参加した。撮影場所は、令和2年7月豪雨で被災した旧中津江村高齢者福祉施設跡地。上津江防災士会から早期避難で人的被害を防げた教訓を聞き、児童たちは真剣な表情で早めの避難の大切さを学んでいた。

集落支援員が毎週金曜日に開催している「ゆるっとサロン~カフェ陽だまり~」。今回は中津江公民館の“出張寿学級”で、押し花を使ったキーホルダーを制作した。参加者は自分用や家族への贈り物として楽しく制作し、春を先取りしたような素敵な作品が完成。会場は笑顔に包まれ、心温まる交流のひとつとなった。

上津江 - Kamitsue -

2/18

巧みな嘘や詐欺の手口を学ぼう



上津江振興局で開催された、映画「嘘八百」の上映会。骨董品を巡るだまし合いを描いた痛快コメディで、参加者は迫力ある映像やストーリーを楽しんだ。第2部では、上津江駐在所 松崎巡査による特殊詐欺等の講演会を開催。参加者は身近に起こりうる詐欺の手口などに関心を寄せ、真剣に聞き入っていた。

大山 - Oyama -

3/1

春よ来い、梅まつり



春の訪れを告げる「第46回日田おおよま梅まつり(2月15日~3月15日)」。「おおくぼ台梅園イベント」は晴天に恵まれ、会場の梅の花は、ほぼ満開。豊作祈願祭をはじめ、ステージでは大山小学校1・2年生による歌やダンス、大山中学校吹奏楽部の演奏が披露された。会場にはたくさんの露店が並び、大勢の観梅客で賑わった。